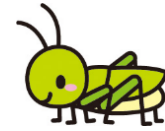




たのしいこと うれしいこと いっぱい



<0歳児> ぼなな・いちご
【 やって もういっかい! 】



保育者と一緒に体を揺らしたり手を叩いたりして遊ぶことが好きです。その中で“やって”“もう1回”と身振り手振りで伝えようとする姿が増えてきました。保育者が「いいよ」と子どもの思いを汲み取ると、満足そうな表情を見せてくれます。自分のしたいことに返してくれる嬉しさを感じて、繰り返しやりたいという気持ちにつながっているようです。

<1歳児> あひる・うさぎ・ペンギン・りす組
【 わぁっ! つめたい! 】



上から降ってくる水を手の平で受け止めたり、自ら体が濡れる場所に行ったりして「わぁ!」と言いながら遊んでいます。また、水が溜まったところに足を入れたり、座ったりして遊ぶ子が増えてきました。水遊びを繰り返し楽しむ中で、全身で水の気持ちよさを感じる力=感性が育ってきているようですね。



<2歳児> きりん・こあら・ひつじ・ぼんだ組
【 わたしも! 】

保育者や友達がしていることを見て“なんだか楽しそう”と興味をもって近付き、隣でニコッと顔を見合わせたり「わたしも!」と同じおもちゃを持ってきたりしています。“一緒に嬉しいな”という気持ちが子どもたちの表情や言葉から伝わってきます。大人と一対一の遊びを十分に経験した子どもたちは、友達の真似をしたり楽しさを共に感じたいという気持ちが育ってきています。